



防災メモ

あらかじめ記入し、家族みんながわかるところにおいておきましょう。

火事・救急 **119** 番

警 察 **110** 番

住 所	
氏 名	電 話

指定避難所	避 難 所
	家族が離ればなれになった時の集合場所

家 族 の 連 絡 先	氏 名	電話(会社・学校)	住 所	メモ 家族との関係など

親 戚 の 知 人 連 絡 先	氏 名	電話(会社・学校)	住 所	メモ 家族との関係など

家 族 の 救 急 データ	氏 名	生年月日	血液型	アレルギー	常備薬	病 歴

緊 急 連 絡 先	連 絡 先	電 話



災害用伝言ダイヤル(171)の体験利用ができるよ! 試してみよう!

災害用伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板サービスは、毎月1日、15日に体験利用ができるのでやってみよう! 詳しくは <https://www.ntt-west.co.jp/dengon/taiken/>

災害用伝言ダイヤル(171)とは?

災害用伝言ダイヤル(171)は、被災地の方の電話番号をキーにして、安否等の情報を音声で登録・確認できるサービスです。NTT東日本・NTT西日本の加入電話、ISDN、公衆電話、ひかり電話、特設公衆電話、および携帯電話からご利用できます。

伝言の録音	171-1-□□□-□□□-□□□□(キー電話番号)	伝言保存期間	災害用伝言ダイヤル(171)の運用終了まで
伝言の再生	171-2-□□□-□□□-□□□□(キー電話番号)	伝言蓄積数	1電話番号あたり20伝言まで
伝言内容	1伝言あたり30秒以内	利用可能電話	一般電話(プッシュ回線、ダイヤル回線)、公衆電話、携帯電話(一部除く)等

【企画・制作】



岡山県 危機管理課

〒700-8570 岡山市北区内山下二丁目4番6号 TEL. 086-226-7562

令和
8年8月
改訂版

ももたろ 防災

チェックポイント
ハザードマップ



各市町村のハザードマップ

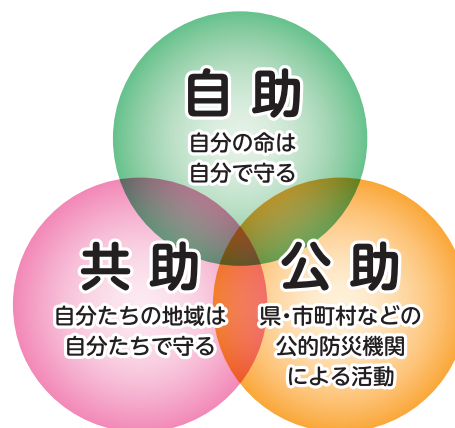
命を守る第一歩
スマホで簡単今すぐチェック!

ハザードマップについて
本冊子P2で詳しく解説しています。



岡山県

自助・共助・公助



災害への備えを考えると、「自助」「共助」「公助」の3つに分けることができます。

一人ひとりを助け、守ることに必要不可欠となるのは、自ら守る「自助」と、近隣で助け合う「共助」です。

「公助」だけでは被害にあった人がたくさんいる場合には救助・援助する側の人手が到底足りません。

一人ひとりが、「自分の命は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えを持ち、日頃から災害に備えておくことが重要です。

防災情報を入手しよう

災害への備えとして日頃から、テレビやラジオといった媒体のほか、「おかやま防災ポータルサイト」、「スマートフォンアプリ」、市町村の「防災情報メール」の登録・確認など、多様な媒体を活用して情報を取得できるよう、準備をしておきましょう。

岡山県総合防災情報システム おかやま防災ポータル

県内の気象情報(注意報・警報、気象レーダー等)、雨量情報、土砂災害危険度情報、河川水位情報、河川カメラ情報等をリアルタイムで確認することができます。

- 検索サイト 検索 「おかやま防災ポータル」を選択
- URLを入力 <https://www.bousai.pref.okayama.jp/>



二次元コードを読み取っても接続できます。

Yahoo!防災速報アプリ

緊急地震速報や豪雨予報をはじめ、さまざまな災害情報をプッシュ通知でいち早く知らせします。

<設定手順>

- ホーム画面の防災速報のアイコンをタップ**
アプリを起動すると、初期設定が開始されます。
- 初期設定を始める**
「プッシュ通知でお知らせ」画面で「次へ」をタップします。次に表示される画面で「許可」をタップします。
- 現在地連動通知機能を設定する**
この機能を利用する場合「この機能を使う」をタップします。次に表示される画面で「許可」をタップします。
- 通知を受け取る地域を設定する**
「地域を設定する」をタップします。通知を受け取る地域を選びます。



Android版



iPhone版

データ放送 等

テレビのデータ放送(リモコンの「d」ボタンを押す)からも、リアルタイムで気象情報、河川水位・潮位などの観測情報、避難情報などを入手することができます。

- 放送事業者 NHK岡山放送局
- 地震・台風・大雨等の災害情報や避難情報をリアルタイムで確認できるアプリがあります。
「NHK ONE ニュース・防災アプリ」



ハザードマップ

ハザードマップとは

浸水や土砂災害などの災害リスクを地図上に示したもの

確認しよう

- ✓自宅や職場周辺の災害リスク
- ✓避難先までの安全なルート
- ✓複数の災害種別のハザードマップを合わせてチェック

家族で話し合おう

- ✓危険な場所から離れた避難先
- ✓親戚・知人宅、ホテルや旅館も避難先の一つとして検討しておきましょう
- ✓避難先までの移動手段やルート

やってみよう

- ✓避難先までの経路を歩いて確認



紙のハザードマップは各市町村で配布
ホームページにはデジタル版が公開されています

各市町村のハザードマップ➡



洪水ハザードマップで
浸水の危険がある場合

浸水(内水)
ハザードマップで
浸水の危険がある場合

土砂災害ハザードマップの
危険区域等に該当する場合

高潮ハザードマップで
浸水の危険がある場合

河川氾濫や大雨の情報に注意!

洪水のハザードマップは河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域や水深を示しています

大雨の情報に注意!

浸水(内水)のハザードマップは大雨時に下水道管や水路からの浸水が想定される区域や水深を示しています

土砂災害の情報に注意!

土砂災害のハザードマップは土石流、地すべり、がけ崩れといった土砂災害の危険がある区域を示しています

高潮の情報に注意!

高潮のハザードマップは高潮が発生した場合に浸水が想定される区域や水深を示しています

※ハザードマップですべての災害が予想できるわけではありません。

当初は、マンホールというマンホールがほとんど浮き上がっているし、家は倒壊して道を塞いでるしで全然駄目でした。

空き巣の被害にあいました。治安が極度に悪化するので、戸締まりの確認や定期的な見回りをするべきでした。

避難所の小学校で校長先生が卒業生を応援に呼んだり、トイレの使い方を決めたりしていました。避難所でのリーダーの大切さを感じました。

髪が洗えないことが予想以上に苦痛だった。寒い時期だったので**お風呂**で暖まらないことも辛かった。

ガソリンを手に入れるのに苦労した。普段から早めに給油したり、ガソリンスタンドの場所を確認しておくことが大切と感じた。

電気がないと生活の基本が全くできないと痛感しました。電気が復旧したときが一番うれしかったです。

災害対策に十分や万全はないと思います。いつ、何どき、何が起こっても大丈夫だという覚悟を持って生活することが大切だと感じました。他の人や物に頼ることも時には必要ですが、まず自分自身がそういう覚悟をしているかで、有事の行動を左右すると思います。

被災者の声

避難所での生活で一番困ったことはやっぱり**トイレ**です。下水も上水も断水していたので、学校のトイレは全て大便で埋まっていました。あとは簡易トイレ、災害用の段ボールの簡単なトイレを使い、ビニール袋の中に凝固剤を入れてやっていました。かなり大変な状況でした。

自衛隊の方々による**食事**の準備は非常に早かったですが、それをもらうのに1～2時間立って並びます。

一旦避難したのに、忘れ物を取りに帰って**津波**に飲まれた方がいました。警報が解除されるまで、絶対に戻ってはけません。



避難所で子供が泣くので、他の方に申し訳なく、**車の中**で過ごしました。

携帯電話の電池が切れ、バッテリーも持っていなかったので、連絡のためのアドレスが見れず、連絡を取れなかった。

子供の**オムツ**がなくて不安だった。近くのスーパーに5時間並んでやっと手に入れました。

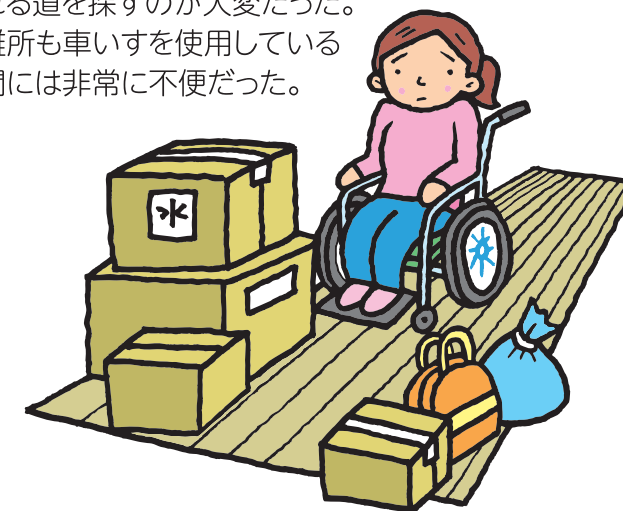
避難して車中泊していました。ラジオやワンセグはついたけれど、被害の全容がわかりませんでした。ライオンが逃げたとか、ショッピングモールが燃えているとか、**デマ**も流れていました。

岡山は災害の少ない県だと思い、他県で被害があるのを他人事のように見ていましたが、自分が被災し、初めてその**大変さ**を知りました。

水汲みに初日1時間、2日目3時間待ち。寒くて死にそうでした。しかもポリタンクを持っていなかったで、ペットボトル2～3本しか確保できなかった。

震災前は挨拶程度だった近所の方々と、震災直後からは助け合い、辛い状況を乗り越えることができました。**地域のつながり**の大切さを感じました。

車いすのため、移動する際に道が寸断されていて、通れる道を探すのが大変だった。避難所も車いすを使用している人間には非常に不便だった。



避難指示が出た時は、まだ水害が発生するとは思ってなかった。河川の土手が決壊したということがわかっていたら、早く**避難**していたと思う。

平成30年7月豪雨災害による岡山県の被害

(令和3年2月2日現在)

死者数 **95人**

(うち災害関連死:34人)

行方不明者数 **3人**

建物全壊・半壊
8,195棟

床上・床下浸水
7,058棟

負傷者数
177人

南海トラフ巨大地震による岡山県の被害想定(最大値)

写真の出典:国土交通省 東北地方整備局 震災伝承館

津波の高さ
3.6m

負傷者数
8,078人

避難者数
347,120人

死者数
3,778人

※災害関連死者数を含まない

建物全壊・焼失
21,742棟

災害関連死者数
1,247人

目次

自助・共助・公助……P1

防災情報を入手しよう……P1

ハザードマップ……P2

被災者の声……P3

平成30年7月豪雨災害による岡山県の被害……P5

南海トラフ巨大地震による岡山県の被害想定(最大値)……P5

岡山県の災害リスクといざという時の行動

- 1.地震……P7
- 2.風水害・土砂災害・高潮被害……P11
- 3.テロ・武力攻撃など……P19

災害への備え

- 1.非常持出品を揃えよう……P21
- 2.非常備蓄品を揃えよう……P23
- 3.家具・家電の転倒・移動防止をしよう……P29
- 4.家の中の安全を確保しよう……P33
- 5.家族で話し合おう……P34
- 6.住宅の耐震化のすすめ……P35
- 7.地震保険のすすめ……P36

岡山県の災害リスクを知る

<揺れなど>

南海トラフ巨大地震……P37

断層型地震……P38

<南海トラフ巨大地震での津波・液状化>

岡山県を襲う津波……P39

液状化……P40

自主防災活動

- 1.自主防災活動の紹介、立ち上げ……P41
- 2.平常時の活動……P43
- 3.災害時の活動……P45

知っててよかった

代用品活用術……P47